

坂梨地区の文化財(2)

文化財保護委員 嘉悦 渉

今回は7月号(VOL.24)に続き、坂梨地区の文化財を紹介します。

木喰上人作子安観音像

(市指定彫刻)

天神橋から東へ向うと、左側の路地の奥にお堂があり、*木喰上人の子安観音像が安置されています。観音像の高さは165センチメートル、胴廻りは150センチメートルを測り、材質はケヤキで作られています。個性豊かな異様な姿の観音が赤ん坊を抱えている姿は農家の老婆が、孫坊



やを抱いているようにも見えます。

上人は甲斐の国(現在の山梨県)

の出身で、「木喰戒」という苦行を

続けた僧で、偉大な彫刻家として

も知られています。上人は安永2

(1773)年、日本廻国の大願をた

て、全国を流浪し寛政5(1792)

年の9月に坂梨を訪れて、この観音

像を彫刻しました。九州において木

喰上人が作った像は坂梨の一軀のみ

です。

*木喰とは五穀を断ち木の実を食し、

山中で修行する僧のことです。

十三里木跡(市指定史跡)



▲十三里木跡の道標

坂梨宿場町を約1.5キロメートル上り詰めた右側は、肥後国内に入りする者などの監視をする坂梨番所があった場所と伝えられています。「入り鉄砲に出女」といわれ、武器

である鉄砲と江戸から逃げ出した大名の奥方など厳しく取り締まりました。

た。対面の左にカーブした左側に大

正の初めまで大榎があり、ここが豊

後街道の十三里木跡になります。

このあたりを一里山といい、十三

里木跡の道標は50メートル先の市道

と国道の合流点に建てられています。

ここから約300メートル先から右

に折れると、いよいよ「大坂に坂な

し坂梨に坂あり」といわれた街道一

の難所、滝室坂となります。

坂梨小学校保存教科書

(市指定歴史資料)

坂梨小学校には明治4(1871)

年から明治43(1910)年までの教

科書が191冊保存されており、明

治期の小学校教育を知るうえで貴重



▲坂梨小学校保存教科書

右の時間割表は、保存教科書のうち、明治35(1902)年12月1日文部省検定済の高等小学校女子用国語読本巻4の末尾の余白に、読本を所有していた生徒が記入したもので、当時の学校教育の一端をうかがい知る貴重な資料です。

な資料となっています。

西南戦争や太平洋戦争、天災など幾多の災難を交えながら、特に戦後においては米軍の戦前教科書の廃棄指示にもかかわらず、学校・校区民が一丸となって守り抜いて保存したその心には頭が下がります。その保存状態も極めて良好で、県下にもこれ程多数の教科書を保存している例はなく、平成6年に熊本県立美術館分館で開催された「古文書に見る熊本の教育展」にもその一部を出展し、高い評価を受けました。

地	國	英	修	算	月
体	音	歴	算	國	火
裁	算	英	地	修	水
体	裁	裁	算	國	木
裁	裁	英	習	國	金
裁	体	作	算	國	土
5	4	3	2	1	

術身語語理史楽操縫字文
算修英國地歴音体裁習作
算修英國地歴音体裁習作

▲明治35年高等小学校時間割表